

2025年度

前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校				
教 科	科 目	単位数	標準単位数	学習期間	担当者
公民	政治・経済	2	2	半期	稲元隆一郎
教科書名		出版社	学習書		
政治・経済		東京書籍	政治・経済		
指導目標					
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて、探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するために広い視野を持ち、グローバルが進む国際社会において主体的に生きるために平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力をつける。また、政治や経済の仕組みや構造を理解し、現代における社会的な問題や経済政策について自らの考えを表現できる力を養う。					
レポート(添削指導)	全 6 回		定期試験	あり	年間(学期) 1 回
スクーリング	全実施時間数 27 時間	定期試験の評価割合	70 %		
	標準面接時数 2 時間	評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1		

回	日付	曜日	単元・学習内容	レポート 回数	レポート 締め切り日	試験範囲	備考
1	4/17	木	オリエンテーション	1	5月9日		
2	4/18	金	民主政治の基本原理				
3	4/24	木	日本国憲法の原理				
4	4/25	金	国会と立法 /内閣と行政				
5	5/1	木	裁判所と司法/地方自治	2	5月26日		
6	5/2	金	現代政治の特質と課題				
7	5/8	木	現代の資本主義経済				
8	5/9	金	経済主体と経済の循環				
9	5/15	木	生産の仕組みと企業	3	6月9日		
10	5/16	金	市場経済の機能と限界				
11	5/22	木	国民所得と経済成長				
12	5/23	金	金融の仕組みと機能				
13	5/29	木	日本経済の発展と現状	4	6月23日		
14	5/30	金	福祉社会と日本経済の課題				
15	6/6	木	国際政治の仕組み				
16	6/7	金	戦後国際関係の展開と日本	5	7月7日		
17	6/12	木	冷戦後の国際関係と日本				
18	6/13	金	地域主義の動き				
19	6/19	木	軍縮の動きと課題				
20	6/20	金	紛争・難民・テロリズム				
21	6/26	木	国際社会における日本の役割				
22	6/27	金	貿易と国際収支	6	7月23日		
23	7/3	木	戦後国際経済体制の展開				
24	7/4	金	発展途上国の経済				
25	7/10	木	世界経済の現状と課題				
26	7/11	金	現代日本の諸課題				
27	7/17	木	国際社会の諸課題				
28	7/18	金	振り返り・試験対策				

《留意事項》